



令和5年3月3日 第18号

南九州市

社協だより



社会福祉法人 南九州市社会福祉協議会

- 本所・
知覧支所 〒897-0302 鹿児島県南九州市知覧町郡17848番地
(南九州市知覧老人福祉センター内)
TEL (0993) 83-3961 FAX (0993) 83-3962
TEL (0993) 83-4828 (デイサービス)
- 類娃支所 〒891-0702 鹿児島県南九州市類娃町牧之内2606番地
(南九州市類娃老人福祉センター内)
TEL (0993) 36-1257 FAX (0993) 36-1267
- 川辺支所 〒897-0215 鹿児島県南九州市川辺町平山3234番地
(南九州市役所川辺庁舎別館内)
TEL (0993) 56-5450 FAX (0993) 56-5488

ボランティア活動センター
心配ごと相談所
通所介護事業所(デイサービス)
生活支援体制整備事業
福祉サービス利用支援事業
生活困窮者自立相談支援事業
かごしまおもいやりネットワーク事業
— ぬれぬいネットワーク —

日本赤十字社 南九州市地区
南九州市共同募金委員会



会長あいさつ

皆様におかれましては、輝かしい令和5年の初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

今日、新型コロナウイルス感染拡大という極めて大きな災禍に見舞われました我が国においては、社会・経済への影響が極めて甚大であり、未だその収束が見通せない状況にあります。そのような中で国際的には豊かで活力ある未来を創る「持続可能な開発目標（SDGs）」が示され、我が国においてもSDGsの実現に向けて官民ともに取り組んでいます。このSDGsの「誰一人取り残さない持続可能で多様性と包摂性のある社会」の実現は、社会保障・社会福祉がこれまで進めてきた歩みや「地域共生社会」づくりにつながるものであります。

地域社会においては、人々が相互に人格と個性を尊重し合いながら社会参加し、自立的な暮らしを最期まで続けることのできる「地域共生社会」の実現を目指していくことがこの苦難を乗り越えた新しい時代に求められる姿だと思えます。少子高齢化が進むなか、地域では孤独死やゴミ屋敷等の増加、社会的孤立、ひきこもり、8050問題、貧困や格差等、さまざまな地域生活課題が顕在化しています。こうした課題の背景には、地域社会の関係性の希薄化、家族形態の変容等があると指摘されています。我々、福祉組

社会福祉法人 南九州市社会福祉協議会

会 長 森 田 隆 志

織・関係者が目指す社会は、「ともに生きる豊かな地域社会」であり、それは住民一人ひとりが協働し、日々ともに支え合い、生活における楽しみや生きがいを見出し、生活上のさまざまな困難を抱えた場合でも社会から孤立せず、安心して、その人らしい生活を送ることができる社会であります。

このために本会は、「あらゆる生活課題への対応」と「地域のつながりの再構築」を柱とし、「地域での支え合い意識」を育み、地域住民から寄せられる多様な生活課題を受け止め、地域を基盤にして解決につなげる支援や仕組みづくりを行います。また、相談・支援体制の強化と総合相談体制の構築を図ることにより、しっかりとニーズを受け止め、地域生活を支える土台を構築することで公共的な性格を持つ民間団体として、行政・各種団体・施設をはじめとする福祉、保健、教育、医療などの関連分野との連携を深めるとともに、地域住民の理解と協力を得ながら、「いつまでも住み慣れた地域で安心して生活できる住みよいまちづくり」に更なる努力をしてまいりたいと存じますので皆様方のお力添えをお願いいたします。

本年も皆様にとりまして幸多き年になりますようご祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

令和4年度

社会福祉法人南九州市社会福祉協議会 会長表彰 被表彰者一覧

表彰の部

1 社会福祉施設の長及び職員（48名）

区 分	地域名	氏 名	所 属
高齢者福祉	頤 娃	濱 島 英 嗣	特別養護老人ホーム 涼松
〃	頤 娃	倉 山 み ゆ き	特別養護老人ホーム 涼松
〃	頤 娃	別 府 大 道	特別養護老人ホーム 涼松
〃	頤 娃	岡 村 浅 子	特別養護老人ホーム 涼松
〃	頤 娃	高 取 麻 沙 美	特別養護老人ホーム 涼松
〃	頤 娃	中 村 敏 江	特別養護老人ホーム 涼松
〃	頤 娃	小 野 眞 由 美	特別養護老人ホーム 涼松
〃	頤 娃	野 元 真 吾	特別養護老人ホーム 涼松
〃	頤 娃	杉 下 道 博	特別養護老人ホーム 望洋の里
〃	頤 娃	迫 山 泰 弘	特別養護老人ホーム 望洋の里
〃	頤 娃	杉 下 明 美	特別養護老人ホーム 望洋の里
〃	頤 娃	鮫 島 誠	特別養護老人ホーム えい秀峰園
〃	頤 娃	谷 上 ま さ 子	特別養護老人ホーム えい秀峰園
〃	頤 娃	新 平 明 美	特別養護老人ホーム ビハーラ
〃	頤 娃	森 里 美	特別養護老人ホーム ビハーラ
〃	頤 娃	福 留 麻 美	特別養護老人ホーム ビハーラ
〃	頤 娃	有 村 亜 沙 美	特別養護老人ホーム ビハーラ
〃	頤 娃	柳 政 宏	特別養護老人ホーム ビハーラ
〃	頤 娃	小 川 恭 平	特別養護老人ホーム ビハーラ
〃	頤 娃	近 道 亜 希	特別養護老人ホーム ビハーラ
〃	頤 娃	古 賀 太 一	特別養護老人ホーム ビハーラ
〃	頤 娃	藤 崎 洋 子	なーも生活支援ハウス
〃	頤 娃	眞 茅 陽 平	こぎく園大川デイサービスセンター
〃	頤 娃	松 山 志 穂 美	こぎく園福祉給食宅配センター
〃	頤 娃	大 久 保 晋 一	岡村さん家居宅介護支援事業所
〃	頤 娃	濱 田 恵 子	岡村さん家居宅介護支援事業所
〃	頤 娃	永 江 智 博	介護・支援事業所 聖の郷
〃	頤 娃	北 川 勝 人	介護・支援事業所 聖の郷
〃	頤 娃	山 崎 直 仁	介護・支援事業所 聖の郷
〃	頤 娃	王 子 田 千 里	介護・支援事業所 聖の郷
〃	知 覧	今 門 希 美 子	養護老人ホーム 寿楽園
〃	知 覧	濱 畑 諒	特別養護老人ホーム 憩いの里
〃	知 覧	竹 下 美 幸	特別養護老人ホーム 憩いの里
〃	知 覧	久 保 緑	憩いの里 デイサービスセンター
〃	知 覧	西 迫 優 子	グループホーム このゆびと一まれ
〃	知 覧	瀬戸口 美和子	ハートフルちらん（憩いの里）
障害者福祉	頤 娃	福 永 武 尊	就労・支援事業所 あすなろ
〃	頤 娃	和 田 由 香 里	障害者支援施設 慈生園

表彰の部

1 社会福祉施設の長及び職員（48名）

〃	顕 娃	中 村 さ と み	障害者支援施設 慈生園
〃	顕 娃	中 村 伸 吾	障害者支援施設 慈生園
〃	顕 娃	田 上 桂 子	障害者支援施設 慈生園
〃	顕 娃	井 手 侑 花	障害者支援センター すてっぷ
〃	顕 娃	田 中 雄 二	更生会 給食センターつどい
〃	顕 娃	今 福 タ エ 子	更生会 給食センターつどい
〃	顕 娃	木 佐 貫 え り 子	更生会 給食センターつどい
〃	顕 娃	田 上 博 之	更生会 給食センターつどい
〃	顕 娃	利 田 祐 己	更生会 給食センターつどい
児童福祉	顕 娃	寺 原 佳 菜 子	大川こども園

2 社会福祉団体の長及び役員並びに相談員（1名）

地域名	氏 名	所 属
顕 娃	吉 村 忍	顕娃町ゴールドクラブ連合会

3 地域福祉社会のなかで市民の模範となる者（9名）

地域名	氏 名	所 属
知 覧	菊 永 龍 臣	南九州市立 松山小学校 4年生
知 覧	菊 永 あ こ	南九州市立 松山小学校 2年生
知 覧	中 村 優 羽	南九州市立 松ヶ浦小学校 5年生
知 覧	河 野 風 助	南九州市立 松ヶ浦小学校 3年生
知 覧	古 田 み の り	南九州市立 中福良小学校 3年生
知 覧	西 垂 水 颯 亮	南九州市立 中福良小学校 3年生
知 覧	浮 邊 菜 緒 妃	南九州市立 中福良小学校 3年生
顕 娃	桐 木 平 希	南九州市立 大丸小学校 5年生
顕 娃	大 坪 千 春	南九州市立 大丸小学校 4年生

感謝の部

1 児童・生徒のふれあいボランティア活動事業に積極的に取り組む優秀校（5校）

地域名	学校名	地域名	学校名
顕 娃	顕 娃 小 学 校	知 覧	松 山 小 学 校
知 覧	中 福 良 小 学 校	知 覧	松 ヶ 浦 小 学 校
川 辺	大 丸 小 学 校		



南九州市社会福祉協議会長表彰につきましては、例年「南九州市地域福祉推進大会」の式典において表彰を授与しておりますが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症対策としまして、大会中止となりました。
被表彰者の皆様方には、各所属団体を通じて、伝達表彰として授与させていただきました。



令和3年度資金収支計算書

(自) 令和3年4月1日 (至) 令和4年3月31日

【事業活動による収入】

単位：円

勘定科目	決算額
1 会費収入	6,089,500
2 寄付金収入	6,652,245
3 経常経費補助金収入	39,616,566
4 受託金収入	28,794,180
5 貸付事業等収入	160,000
6 地域福祉活動事業収入	2,726,940
7 負担金収入	0
8 介護保険事業収入	2,293,990
9 受取利息配当金収入	1,252
10 その他の収入	237,592
事業活動収入計	86,572,265

【施設整備等による収入】

1 施設設備等補助金収入	0
施設整備等収入計	0

【その他の活動による収入】

1 積立資産取崩収入	0
その他の活動収入計	0
収入計	86,572,265

【事業活動による支出】

単位：円

勘定科目	決算額
1 人件費支出	57,452,591
2 事業費支出	9,853,173
3 事務費支出	5,623,740
4 貸付事業等支出	170,000
5 共同募金配分金事業費	4,092,000
6 助成金支出	6,900
事業活動支出計	77,198,404

【施設整備等による支出】

1 器具及び備品取得支出	279,730
施設整備等支出計	279,730

【その他の活動による支出】

1 積立資産支出	6,000,809
その他の活動支出計	6,000,809
支出計	83,478,943

当期資金収支差額計	3,093,322
前期末支払資金残高	8,717,746
当期末支払資金残高	11,811,068

貸借対照表 (令和4年3月31日現在)

単位：円

資産の部	当年度末	負債の部	当年度末
流動資産	14,069,226	流動負債	4,790,731
現金預金	13,785,500	事業未払金	1,301,239
事業未収金	283,726	預り金	41,950
		職員預り金	914,969
固定資産	53,957,635	賞与引当金	2,532,573
基本財産	3,000,000	固定負債	0
その他の固定資産	50,957,635	負債の部合計	4,790,731
		【純資産の部】	
資産の部合計	68,026,861	基本金	3,000,000
		その他の積立金	49,881,245
		次期繰越活動増減差額	10,354,885
		純資産の部合計	63,236,130
		負債及び純資産の部合計	68,026,861

事業実績・決算、事業計画・予算関係書類は、本所、各支所において閲覧することができます。

南九州市社会福祉協議会 活動事業 令和3年度

【活動事業】

- | | | |
|------------------------------|------------------|----------------------|
| 1 法人運営事業 | 2 地域福祉活動推進事業 | 3 共同募金配分金事業 |
| 4 ボランティア活動事業 | 5 心配ごと相談事業 | 6 老人福祉センターの経営 |
| 7 生活支援体制整備事業 | 8 デイサービス事業 | 9 福祉サービス利用支援事業 |
| 10 生活福祉資金等貸付事業
(緊急小口貸付事業) | 11 生活困窮者自立相談支援事業 | 12 かごしまおもいやりネットワーク事業 |
| | 13 南九州市共同募金委員会 | 14 日本赤十字社南九州市地区 |

南九州市 買い物支援協力店

南九州市では誰もが『その人らしく、安心して心豊かな生活』を続けられるように地域支えあいの体制づくりに取り組んでいます。その一環として、市内の店舗や事業所の協力を得て、買い物のサポートを必要とされる方 どなたでも ご利用頂ける制度です。

例えばこんなときに…

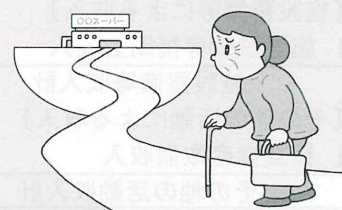
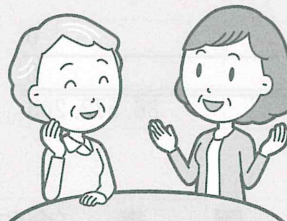
体調が悪く
外出できないとき



車がなく重い荷物が
運べないとき



ちょっとした相談や
世間話がしたいとき



一人での買い物が
不安なとき

頼りになるのは…



お届け店

日常生活に欠かせない「衣類・日用品・食品など」の配達や出張してのサービスを提供してくれるお店です。

《右頁の **お届け店** 一覧表をご覧ください》

より所店

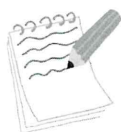
店内での補助や休憩所として気軽に利用できる店内での買い物環境に配慮されたお店です。

《市内全世帯配布済みの一覧表
(令和3年3月発行) をご覧ください》



お届け店 のご利用方法は…

必要なものをメモ。
一覧表の中から
取り扱い店を探し、
配達可能な地域か
確認。



店に直接電話を
かけて注文。
名前・電話番号・
届け先住所を
伝える。

配達お願い
します



自宅に注文の
商品が配達される。
お支払いは基本現金。



事業主体：南九州市 実施主体：社会福祉法人 南九州市社会福祉協議会
■発行 南九州市社会福祉協議会 0993-83-3961
■協力 南九州市商工会 0993-56-0247

お届け店



商品の配達や自宅等まで出向いてのサービスを行ってくれる協力店の一覧です。
協力店ごとに対応できる区域、内容や時間帯が違います。詳しくは協力店へ直接お問い合わせください。

- ◆ 配達を依頼する場合、保冷や梱包に別途費用が発生する場合があります。
- ◆ 掲載は配達区域を基準にして、五十音順に掲載しています。
- ◆ この一覧表で平日とは、月曜日から土曜日で、祝・休日ではない日をさします。

食品・食材

(種別、地域、五十音順)

店 名 (所在地)	配達区域 顓 知 川 娃 覧 辺	店 名 (所在地)	配達区域 顓 知 川 娃 覧 辺	店 名 (所在地)	配達区域 顓 知 川 娃 覧 辺
Mマートひがし (顓娃町上別府 4608-3)	● 一部	(有) 岡商店 (知覧町塩屋 14926-6)	● 一部	(有) 児玉ストアー (川辺町平山 6816)	● 一部
大園商店 (顓娃町上別府 5642)	● 一部	アイショップマルエス知覧店 (知覧町西元 4187-1)	応談	そのだストアー (川辺町古殿 513-1)	●
小川酒店 (顓娃町別府 362)	● 一部	アイショップ勝目店 (川辺町上山田 5266-1)	● 一部	五反田製茶 (川辺町永田 1273)	●
(株) 知覧心茶堂 (知覧町西元 12360-1)	●	亀甲商店 (川辺町上山田 1819-5)	● 一部	西ミルク宅配センター (川辺町田部田 6386)	● 一部
はちみつ西垂水養蜂園 (株) (知覧町西元 12600)	● 一部	季膳 功 (川辺町平山 7002-3)	●	明治ミルクまま南九州宅配 (川辺町永田 573)	● 一部
(有) 真茅商店 (知覧町郡 6294-3)	● 一部	(有) 蔵元商店 (川辺町野崎 2579-2)	●	ヤマガミ醤油・味噌 (川辺町永田 971)	●

衣類・日用品・その他

衣料雑貨青木 (顓娃町上別府 4664-1)	● 一部	(株) 大栄 (顓娃町牧之内 2142-1)	●	(有) 江平ガラス工業 (知覧町郡 8261-3)	●
衣料百貨はらだ (顓娃町別府 363)	●	(有) 花の店げんかわ (顓娃町牧之内 2041)	● 一部	志々目モータース (知覧町郡 6216)	●
(有) 緑屋婦人用品・インテリア (顓娃町牧之内 1574-5)	●	ファッションショップにしむら (顓娃町牧之内 1853-3)	●	(有) 青木呉服店 (知覧町塩屋 14946-5)	●
福祉用具レンタル販売 寿幸舎 (顓娃町郡 854-1)	●	藤下薬品 (顓娃町牧之内 1568-2)	●	(有) ケアリンク (川辺町平山 5992-1)	●
祝迫重徳タタミ店 (顓娃町牧之内 7578)	●	(有) 宇都薬局, 居宅介護 支援事業所 (知覧町郡 86)	●	古市仏壇店 (川辺町田部田 3714-8)	●
KRC南薩 (顓娃町牧之内 2044-3)	●	キクナガ薬局 (知覧町上郡ファミマ隣)	●	プロエイト (川辺町平山 5992-1)	●

燃料 (灯油)

(有) 石元石油店 (顓娃町別府 74-1)	●	今村石油店 (知覧町郡 13494-1)	●	(有) 上原石油店 (川辺町平山 3301-1)	●
(有) 川畑石油 (顓娃町別府 360)	●	岡石油 (知覧町塩屋 14926-6)	●	大坪建設 川辺給油所 (川辺町下山田 2555-1)	●
黒田石油 (株) 大川店 (顓娃町別府 7371-4)	●	川松石油ガス (知覧町南別府 25917)	●	片平石油 (川辺町平山 3420-3)	●
黒田石油 (株) えいセルフ店 (顓娃町郡 1831-2)	●	(有) 菊永石油 (知覧町塩屋 23937-1)	●	高田石油 (川辺町高田 345)	●
(有) 鶴留石油店 (顓娃町牧之内 3003-1)	●	(有) 知覧石油 (知覧町郡 17661)	●	(有) 橋口石油瓦斯 (川辺町上山田 5266-1)	●
(株) 蓮子興産 (顓娃町別府 3083-1)	●	南九州石油 (知覧町郡 4857-54)	●	(株) 前野石油 (川辺町両添 1026)	●

より所店



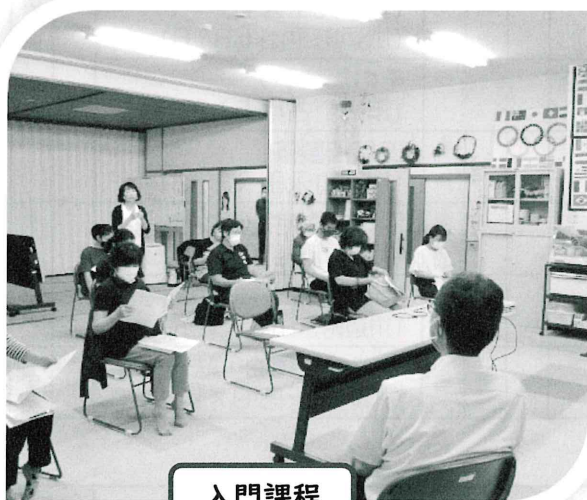
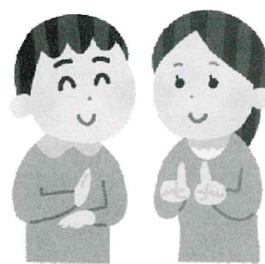
店内での補助や購入品の駐車場までの運搬などを手伝ってくれる協力店です。
気軽に休憩や待合所として利用できたり、スロープや手すりを設置しているなど、
店内での買い物環境に配慮された協力店のことです。詳しくは社会福祉協議会へお問い合わせください。

令和4年度 手話教室開催

南九州市社会福祉協議会では、「手話をいっしょにはじめませんか？」を合言葉に手話教室（南九州市手話奉仕員養成講座）を開催いたしました。

幅広い年代の方々に受講いただき、全講座30回という長丁場の講座でしたが、受講生の皆さんは最後まで楽しく学ぶことができたようです。

令和5年度の募集は5月頃、全世帯にチラシ配布予定です。
是非お申し込みください。お待ちしております。



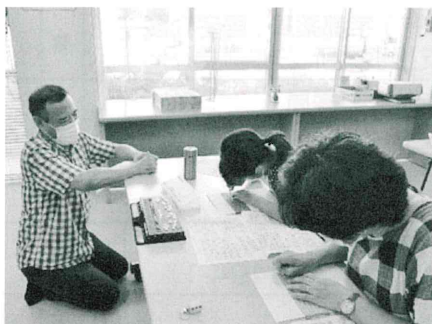
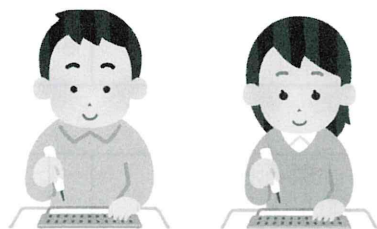
入門課程



基礎課程

夏休み「点字の学び場」開催

夏休みの期間を利用して、視覚障害者への理解を深める目的として、「点字の学び場」を開催いたしました。「街角や生活用品の中でよく見かける点字を学んでみよう」をテーマに、身近な場所にある点字について、講師と一緒に体験を通じて学びました。



（洗濯機に表示されている点字を解説）
日用品の点字について、講師に質問しています。

（点字器で点字打ちの体験）
盲学校1年生の宿題「目打ち」を頑張って打っています。

（サウンドテーブルテニスを体験）
障害者スポーツである視覚障害者卓球を実際の卓球台とラケットで体験しました。

サマーボランティア体験研修開催



ボランティア体験を通して、思いやりの心や、共に生きる福祉の心を育むとともに、ボランティア活動をはじめのきっかけづくりを目的として南九州市内の中・高校生が夏休みを利用してサマーボランティア体験を行っています。（救急法や非常食炊き出し訓練を体験しました）



頤娃高等学校生



川辺中学校生



川辺高等学校生

南九州市ボランティア協力校へ福祉体験



（松山小学校4年生の福祉体験の様子）
点字学習 と 視覚障害者との交流

（粟ヶ窪小学校5年生の福祉体験の様子）
車椅子の介助 と ガイドヘルプ

（大丸小学校全校生徒の福祉体験の様子）
車椅子の介助 と ガイドヘルプ

南九州市社会福祉協議会では、南九州市内の全小・中学校と県立各高等学校をボランティア協力校として登録いただいております。

ボランティア協力校への福祉体験学習の企画及び講師派遣や、学校内でのボランティア活動の一助として、市民や企業の皆さま方からお預かりいたしました、赤い羽根共同募金を南九州市内の全小学校・中学校・高等学校にボランティア協力校助成金（赤い羽根共同募金配分金事業）として交付しております。

福祉体験により、相手の気持ち・心を感じ、ボランティア活動を通じて、子供たちの「こころを育てる」活動を実施しております。

問い合わせ：担当 ボランティアセンター 瀬戸口・吉崎

南九州市社会福祉協議会 職員募集

南九州市社会福祉協議会 正規職員採用のお知らせについて

令和5年度 社会福祉法人南九州市社会福祉協議会 職員の採用試験要領
社会福祉法人南九州市社会福祉協議会職員採用を次の要領で予定しています。

1 職種及び採用予定人員

- ① 社会福祉士 1名
社会福祉関連・地域福祉事業の企画、調査。
受託事業・ボランティア・市民活動の推進。

2 採用予定日 令和5年6月1日

3 勤務地 南九州市知覧町郡17848番地（知覧老人福祉センター内）

4 受験資格等

- (1) 平成4年4月2日以降に生まれた人で、学校教育法による高等学校以上の学校を卒業した者、若しくはこれに相当する学力を有する者
(2) 社会福祉士の資格を有する者(受験資格があり取得予定者)
採用時に資格取得できていない場合でも、次年度以降に取得を目指す者も採用の対象とします。
(3) Word・Excelの基本操作ができること
(4) 普通自動車免許を有する者

※次に該当する方は受験できません。

ア. 禁固刑以上の刑に処せられ、その執行を終わるまでまたはその執行を受けることがなくなるまでの者

5 試験の方法

課題レポート提出・一般性格診断検査

6 選考方法

第一次選考 書類選考(履歴書, 課題レポート)
第二次選考 面接(書類選考結果通知の際に日程通知)

○応募・受付方法

南九州市社会福祉協議会 本所及び各支所（窓口）に準備してある
「受験申込書及び指定の履歴書」「課題レポート」を提出。
南九州市社会福祉協議会ホームページ掲載
(<https://www.shakyo.or.jp/hp/1747/>)

○応募締切

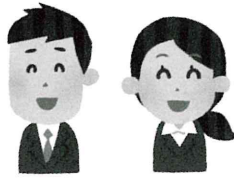
令和5年4月28日（金）までに必着または持込(厳守)

○申込先・お問合せ

〒897-0302 南九州市知覧町郡17848番地 知覧老人福祉センター内
南九州市社会福祉協議会 本所
TEL 0993-83-3961
お問合せ時間：月～金(土・日・祝休) 午前8時30分～午後5時15分

香典返し、お見舞いの一部を バザーの益金を 等々
社会福祉に役立てて下さい…

といった善意の寄付が寄せられています。
心温まる御芳志に対し厚くお礼申し上げます。



期間:

令和4年1月1日～

令和4年12月31日

(受付分掲載)

一般寄付敬称略

南九州市成人式実行委員会
Aコープえい大川店
平山中央第二長寿会
知覧グラウンドゴルフ協会
知覧地区公民館文化祭バザー
霜出地区公民館
匿名希望 2件
掲載希望なし 7件

顕娃地域

香典返し寄付

寄付者名 故人名 (自治会)
池田 智子 東フチ (青戸中)
里中 幹雄 廣隆 (中村)
湯田トシ子 純義 (赤崎)
日置 史郎 矢越サカエ (矢越)
今吉 照美 盛廣 (郡山下)
岡元 和代 ツヤ (加治佐)
西 豊子 俊寛 (青戸中)
伊瀬知範子 幸雄 (伊瀬知)
高取 浩俊 實義 (高取)
松窪 和文 キミエ (上出)
佃 義則 義信 (佃)
西迫 久司 フサエ (栗ヶ窪)
一氏 令子 松村テル (一氏)
實代 浩明 ミチ子 (青戸上)
上村 トエ 重行 (南大川)
田之脇輝夫 キサエ (熊ヶ谷)
下尾 徹 君子 (尾曲)

山崎 順子 橋村ソノ (東水成川)
倉村 一夫 ミサヲ (北大川)
成元早智子 笠井アキエ (えい秀路園)
岡村 茂志 和子 (岡村)
上赤 馨 チヅ子 (三俣)
加治佐紀子 秋見 (青戸中)
中村 稔 ミヨ (大川)
東 浩二 キミ (青戸下)
一氏 裕二 クミ子 (一氏)
西田 實 ミツヨ (西大川)
摺木美津子 吉永シミ子 (春向)
有村 オエ 友市 (春向)
永吉みよ子 正博 (春向)
菊次 夏子 鶴留克孝 (下門)
牧山ミチ子 周男 (下大久保)
梶井 政文 チヨ (下出)
野角 光廣 光子 (南大川)
田中 昭子 司 (高取)
上村エツ子 明 (東馬渡)
西 修身 光朗 (青戸中)
前村 俊彦 久男 (矢越)
浜村トシ子 徹志 (東馬渡)
伊瀬知博道 エミ子 (伊瀬知)
武元ムツ子 吉男 (浦芝原)
鶴留 修治 裕恵 (下門)
藤下 和郎 サキ (東馬渡)
田之上英豊 寅二 (春向)
前畑 春子 政俊 (東大川)
田原 豊 直樹 (雪丸)
源川 敏子 薩雄 (源川)

知覧地域

香典返し寄付

寄付者名 故人名 (自治会)
富永ヒサ子 秀男 (瀬世向)
桑代 信昭 澄子 (桑代)
若松 達郎 タヤ (松山)
江平 弘子 美潮 (杉場)
西垂水静男 律子 (西垂水)
佐多 重厚 厚子 (打出口)
立石 初代 愿 (瀬世中)

新茶の寄贈(福祉センター)

谷場みどり八日会
茗友会



菊永 重雄 ミヨ (菊永)
峯苦アヅ子 重敏 (中郡北)
峯苦 逸子 好春 (上別府)
下木原俊彦 富郎 (新町)
前原 鉄也 タミ (大隣)
江平 郁子 塗木久子 (塗木)
富永 朋枝 孝和 (瀬世向)
名越 良子 忠廣 (迫瀬戸山)
笠畑 カエ 満二 (西塩屋)
松清 悦子 大隣サチ (中郡北)
菊永 則子 弘孝 (下郡北)
安田 光子 和博 (堤之原)
赤崎早由紀 和田トク (平成)
御園 純子 富雄 (厚地)
川床 誠 タエ (川床)
濱田 幸枝 正治 (新町)
中木原健一郎 キヨ子 (中木原)
松村 建夫 一夫 (松村)
櫛下町 光 由樹 (松村)
江平 作夫 フヂ (池之内河内)
高城 礼子 康弘 (河上)
市坪 愛子 三宅サチ子 (新町)
桑代 満男 トミ (桑代)
池田イツ子 セツ (中木原)
塗木 健介 武 (塗木)
福田 容子 正一 (後岳北)
山形美佐子 柿木スミエ (中郡南)
塗木 徳子 ミチ (瀬世町)
門口代津子 幸登 (瀬世向)
和田すみえ 一夫 (管内)

牧添 信子	イ子	門園 憲昭	俊子	北村 悠平	由希	佐野より子	重信ハルカ	尾山 茂美	チミ子
後藤 里見	ミチ子	三宅 昌一	ノブ子	掲載希望なし	4件	中小路吉治	エミ子	南田 益雄	トミエ
佐多 孝子	了	松山喜美子	常盛			下之門靖子	利郎	井料 栄造	ツル子
櫛下町加子	泰見	三宅 俊正	ムツ			吉留 俊三	シヅ	鶴園 通也	賀章
馬場 ミツ	久喜	森 重知	トシ子			田代トミ子	通	中村 清久	清子
中原 浩二	ミキ	加治佐たつ子	幸一	香典返し寄付	故人名	森蘭 正子	良一	宮内 健義	イツ子
門園 一志	正人	安田 ふさ	隼夫	寄付者名	(自治会)	福元 幸志	明	吉永 勇	タエ
下野 順子	折田トミ子	久木田由子	一夫	山下 住子	(古殿下)	大井 敏己	スミ子	森田 剛	昌子
寶代 良一	トヨ子	西垂水久志	スズ子	外蘭 順子	(田部田六丁)	菊永 孝一	中	中迎タケ子	孝市
谷尾 裕子	一敏	堂園 明二	とし子	宇都トシ子	(上の前)	沢津橋トシ	隆雄	八瀬尾 寛	ユミ子
井之上イチ子	速男	寺園 真一	信春	新屋 フミ	(永田上)	椎井小百合	原口ヒロ子	庭月野光男	リヨ子
有園 勉	茂光	松山 常明	キミ子	早川美代子	(新町)	池崎 正寿	歌子	砂走 明美	満須子
安田 昌子	太	塗木 久子	薫	五反田トミ子	(仁之野)	西 達夫	久子	前菌 和代	馬場登
山口英理子	龍子	田中 和子	ミツ	金田 憲明	(柳)	大倉野美代子	チエ子	古市 和子	達郎
松山 泰子	前田要子	美並希世子	玲子	並木 正文	(平山下)	市之瀬孝雄	キヨ子	小菌 利夫	ツル子
柚木 典子	重義	岩田 里美	吉田政治	新屋 玉市	(馬場)	原田すみ子	実敏	下堂園美千代	古市種雄
赤崎 義昭	常代	菊永 政廣	ヒロ子	橋口マリ子	(平山下)	西郷まゆみ	重信	蔵元 忠治	ノブ
安藤 政子	ハツネ	岡野 礼子	塗木ヒノ	山中 鎮代	(今田上)	川原 幸輔	千鶴	新谷 和代	坂口キエ
飯野 正人	アヤ子	上野ハナエ	禎男	田代 幸利	(田代)	上塩入玲奈	橋加寿美	前原マサ子	千峯
福永 盛雄	トヨ子	菊永セツ子	親夫	橋之口洋子	(中央一)	松木田 薫	ヨシ子	中川 直美	天神司
豊重 純子	和彦	取違 正人	セツエ	高崎 當雄	(上山田中福良)	角 俊行	ミサ	大坂 良久	マス
鮫島 チョ	正弘	大隣トキエ	武則	今村シヅ子	(古殿下)	片平アツ子	一徳	宮内アツ子	正博
林川さゆり	福永セツ子	宮原 福義	チエ	大坪マサエ	(平山下)	芝原秀一郎	ヒテ	東 健治	キミ子
松山 光行	城ヶ崎ハツミ	菊永 美良	光徳	芝原 宗二	(佐々良上)	志田 泰子	松元サキエ	有蘭ミツ子	貞夫
城ヶ崎勝美	静子	宮原 福代	三郎	大菌 誠	(永田西)	藏元 強	チエ子	井料 清子	清香
松元 政明	五子	赤崎 弘章	フヂコ	小菌 正行	(永田上)	有蘭 秀人	トシ	上野 利美	政志
内園 サミ	直見	上野 順子	御園益雄	六反田正由美	(古殿下)	大菌 健児	松夫	二反田正秋	政己
櫛下町隆子	淳一郎	浮邊 明人	ミス	川崎美代子	(平山下)	高崎ノブヨ	重記	福元 弘行	タ子コ
川口 陽子	和司郎	古屋マサ子	弘喜	森田 清子	(有木)	芝原マサ子	平	五反田和子	藤夫
帖佐トミ子	伸明	松久保ミツ	孝生	永井 礼子	(永田中福良)	有蘭 良子	健一郎	有村 壽内	スミ子

川辺地域



心温まるご寄付のご報告

一般寄付・寄贈	15 件	2,204,921 円
香典返し寄付	263 件	4,271,000 円
合 計	278 件	6,475,921 円

誠にありがとうございました。

じぶんの町を良くするしくみ 赤い羽根共同募金
「みなさまのご支援に感謝いたします」

共同募金は、戦後間もない昭和22(1947)年に、市民が主体の民間運動として始まりました。当初、戦後復興の一助として、被災した福祉施設を中心に支援が行われ、その後、法律(現在の「社会福祉法」)に基づき、地域福祉の推進のために活用されてきました。社会の変化のなか、共同募金は、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、さまざまな地域福祉の課題解決に取り組む民間団体を応援する、「じぶんの町を良くするしくみ。」として、取り組まれています。

市民の皆様、各学校の生徒の皆さん、
企業の方々、多くの方々からご厚意
が本会に寄せられました。

誠にありがとうございました。

戸別募金	4, 302, 509円
街頭募金	12, 526円
法人募金	500, 980円
学校募金	122, 666円
職域募金	70, 356円
個人・その他	120, 566円

寄付者名	故人名	(自治会)
梅橋たみ子	省 蔵	(諏訪下)
有 蘭 雅 則	秋	(平山下)
日 置 英 統	サ エ	(牧之田)
井之脇貞秋	サチ子	(古殿上)
迫 睦美	日笠勝郎	(島内)
今村 博美	雪 子	(城の後)
掲載希望なし	7 件	



ひとりひとりの小さなお金。
そのお金に「誰かの助けになりたい」という
気持ちがある。十人、百人、千人と集まれば、
大きな力になります。
赤い羽根は、小さなことをしています。
小さな活動をたくさん、何十年と続けています。
つまり、赤い羽根は、大きなことをしています。

募金あるお金、募金のすから。
赤い羽根共同募金



日本赤十字社 災害義援金の受付報告



災害義援金名

義援金額

累計額

○ ウクライナ人道危機救援金	469,637 円	令和4年12月末
○ 令和3年長野県茅野市土石流災害義援金	3,000 円	〃
○ 令和3年8月豪雨災害義援金	5,574 円	〃
○ 令和2年7月豪雨災害義援金	5,156 円	〃

(日本赤十字社鹿児島県支部南九州市地区 取り扱い分)

みなさまのご厚意に感謝いたします。

令和5年南九州市「二十歳のつどい」 の参加者から寄付金の贈呈

南九州市「二十歳のつどい」の参加者から本会にお心遣いを賜り、心から感謝と御礼を申し上げます。

今回のご好意は地域福祉の増進に役立たせていただきます。

夢と希望を胸に、前途有望な248名の皆様方のご活躍をご祈念申し上げます。



令和5年南九州市「二十歳のつどい」
(R5.1.3)

会 場：南九州市知覧文化会館



令和4年度南九州市共感ボランティア養成講座



10月22日(土) 講師 宮田 敬博 氏



11月5日(土) 講師 竹畑 光輝 氏



11月12日(土) 講師 ティーン ケスラー 氏



11月19日(土) 講師 津代 幸一郎 氏

令和4年度共感ボランティア養成講座を10月・11月の土曜日4回講座として開催いたしました。
～めざせ！地域の応援団～をテーマに、今回も多彩な講師陣をお招きして、楽しく和気あいあいとした雰囲気でご講話いただきました。

受講生は、講師陣の実体験に興味深々で、講話後も多くの質問をされていました。